



# 大飯原発再稼働を止めよう！

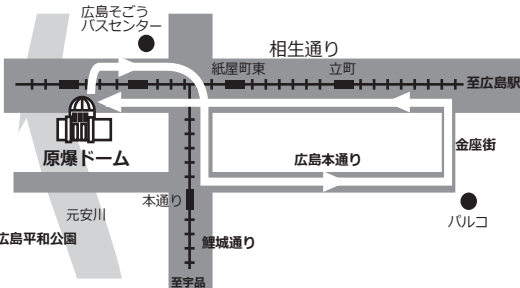


TwitNoNukes 中国ブログ

TwitNoNukes 中国

## デモコース

原爆ドーム→紙屋町交差点右折→電車通り→  
本通り→金座街→電車通り→原爆ドーム



# 【怒りの緊急デモ】

## 2012年7月1日(日)

### 広島 原爆ドーム前

### 13時集合 / 13時30分 出発

雨天  
決行

途中からの参加OK!  
途中までの参加OK!  
飛び入り大歓迎!

6月15日の首相官邸前の再稼働反対抗議に11,000人以上の人が集まりました。これをマスコミは全く報道しませんでした。新聞やテレビからしか情報を得られない人は、この情報は知る事はできませんでした。6月22日の首相官邸前の大飯原発再稼働決定を撤回せよ！抗議には45,000人が集まりました。ツイッターなどインターネット上で情報を知った人が、週を重ねるに連れて増えています。その参加者は、組織でも、団体でもない普通の人達です。報道されないだけで、この動きは全国各地、世界中で抗議のデモが毎週のように行われ、多くの人々が参加しています。世論の大部分が再稼働反対なのに、再稼働を強行しようとするのは間違っています。一個人として、広島圏からも大飯原発再稼働を撤回せよ！と意思表示をしましょう。これを許せば、次は広島から最も近い伊方原発の再稼働が急がれるでしょう。電力会社がオール電化住宅キャンペーンをしていたことからわかるように、電気は足りています。また、福島原発事故で人が住めないような土地を生んでしまったように、放射能汚染は起きてしまったからでは遅い、取り返しのつかない、命の問題です。そして、原発は通常運転でも放射能を大量に出しているのです。

## 世論の半数以上が再稼働に反対。

## 黙っていたら「YES」です。

## 広島圏から大飯原発再稼働撤回の意思表示をしよう！

反原発反被曝連合ヒロシマ  
(いろいろな団体、個人有志の集まりです)

【連絡先】森本道人 090-4141-7467

# 生命と健康と故郷を守るために、今こそ立ち上がりましょう！

民主党野田政権は、今臆面もなく関西電力大飯原発の再稼働に突っ走っています。マスコミや経済界が大騒ぎするように関西電力管内の電力が今夏足りなくなるからでしょうか？こんな子供だましの茶番劇に騙されてはいけません。騙されるのは「原発安全神話」一度きりで沢山です。関電は電力が足りないどころか、電力生産設備過剰です。表1を見ておわかりのように2010年度、関電の自社発電電力の50.9%は原発によるものでした。このため、設備利用率は78.2%にもなりました。しかし、水力発電の設備利用率は21.0%、火力発電の利用率は33.3%と異様に低い水準に抑えられました。そうです。関電は原発稼働率80%を達成するために、水力・火力を抑えていたのです。もし水力・火力を60%の設備利用率に上げれば、原発ゼロでも余裕で需要はまかなえます。電力設備は過剰なのです。

それではなぜ、野田政権は大飯原発を再稼働させたいのでしょうか？それは、電力会社、原発器機メーカー、その物流を担う大手商社、金融を担う大手金融機関、建設やメンテを担当するゼネコン、それを取り巻く企業群、そこから仕事を請け負うPR会社や広告代理店、巨大なライセンス料を吸い上げるアメリカの原発開発企業などあらゆる要素から成り立つ「原子力利益共同体」の利益を守るためです。大手マスコミは、地域独占権、国有地利権、電波割り当て権、広告出稿料、PRイベントの請負など様々な便益の見返りに原子力利益共同体の片棒を担いでいます。

野田政権・原子力利益共同体は、大飯原発の稼働再開を突破口と考えています。これに成功すれば、現在全面停止の全国の原発も次々再開するでしょう。「大飯原発再開」こそ天王山であり、ルビコン河です。これは阻止しなければなりません。

関西電力は、過去10年間若狭湾に放射性物質トリチウムを液体の形で146.8テラベクレルを流し込み、若狭湾を放射能汚染の海としてきました。(表3)トリチウムはもし体の中に入って内部被曝をすれば、人体を構成する細胞の巨大分子構造をずたずたに破壊してしまう恐ろしい放射性物質です。ましてや福島原発事故のように事故が起これば、ヨウ素131、セシウム134、セシウム137、ストロンチウム90、その他プルトニウム系列の毒性のきわめて高い放射性物質が大量に飛び出し、私たちの健康や生命、「ふるさと」を根底から破壊していきます。

原発は私たち一般市民にとって、百害あって一利なしです。野田首相は「国民生活を守るために大飯原発を再稼働する」と述べましたがこれは明らかに「原子力利益共同体の生活を守る」の言い間違いでしょう。もう、スリーマイル島事故やチェルノブイリ事故やフクシマ事故を経験するのは沢山です。

「黙っていたらYESと同じ」今こそ声をあげましょう。行動しましょう。バンコクの日本大使館前で、タイの市民が「大飯原発再稼働反対」の抗議集会を開きました。(http://twitpic.com/9wofp2) そうです。私たちはみんな繋がっているのです。アメリカのワシントンでも、ロスアンゼルスでも、ドイツでも大飯再稼働に反対の抗議の声が挙がりました。韓国の人たちも祈るような気持ちで再稼働を見つめています。ことは私たちの生存権の問題です。彼らの利益のために、私たちの健康で、つつましいけれど幸せな生活が壊されていいはずがありません。原子力利益共同体に奉仕する自公政権と変わらない民主党野田政権打倒も視野にいれながら今こそ立ち上がりましょう。

## 水力と火力の設備利用率を

50% 60%

**表1 関西電力 自社発電実績に対する認可発電設備の割合と推定発電量**

出典：関西電力株式会社 有価証券報告書より

発電原	2010年度実績 (A)	比率 (B)	認可発電設備 (C)	比率 (D)	A vs C	推定最大発電量	設備利用率	推定発電量 I	推定発電量 II
水力発電	15,074	11.5%	8,196	23.5%	1.839:1	71,797	21.0%	35,899	43,078
火力発電	49,369	37.5%	16,907	48.5%	2.920:1	148,105	33.3%	74,053	88,863
原子力発電	66,954	50.9%	9,768	28.0%	6.854:1	85,568	78.2%	0	0
新工ネ発電	126	0.1%	6	0.0%	21:1	53	237.7%	126	126
合計	<b>131,523</b>		34,877		3.771:1	305,523	43.0%	<b>110,077</b>	<b>132,067</b>

水力と火力60%で電力の供給過剰に

**表3 関西電力の3原子力発電所が10年間で放出した液体の形でのトリチウム**

単位：テラ (兆) ベクレル

年度	美浜発電所	高浜発電所	大飯発電所	総合計
2001	1.7	5.3	1.3	
2002	1.8	6.3	6.4	
2003	2.3	5.9	9.0	
2004	1.6	6.3	9.8	
2005	1.5	6.9	6.6	
2006	1.4	6.8	7.7	
2007	2.0	6.0	8.9	
2008	1.8	4.0	7.4	
2009	2.3	4.3	8.1	
2010	1.3	6.5	5.6	
合計	<b>17.7</b>	<b>58.3</b>	<b>70.8</b>	<b>146.8</b>

(原子力施設運転管理年報 平成23年度版による)

**表2 関西電力 電力販売量と自社発電量 (2010.4- 2011.3)**

販売量全体		151,078	100.0%
自社発電量	水力発電	15,074	10.0%
	火力発電	49,369	32.7%
	原子力発電	66,954	44.3%
	新工ネ発電	126	0.1%
	自社発電計	131,523	87.1%
購入電力他	19,555	12.9%	

出典：関西電力株式会社 有価証券報告書より

- \* 2010年度 (2010年4月～2011年3月) 発電実績の単位は百万 kWh
- \* 2010年度 (2010年4月～2011年3月) 認可発電設備の単位は千 kW
- \* 比率 (B) は自社発電実績にしめる各発電原の比率
- \* 比率 (D) は認可発電設備合計にしめる各発電原の比率
- \* 認可発電設備は国から認可を受けた発電設備能力。一般企業でいえば生産能力に相当する。
- \* A:C は認可発電設備に対する発電原の実際発電の割合。数値が高いほど発電原の利用率が高くなることを示す
- \* 推定最大発電量は認可発電設備に1年8670時間をかけたもの。単位は百万 kWh (百万 kW 以下は四捨五入)
- \* 設備利用率は2010年度発電実績を推定最大発電量で割ったもの
- \* 推定発電量 I は設備利用率を水力発電 50%、火力発電 50%、原発 0、新工ネ発電現状、とした時
- \* 推定発電量 II は設備利用率を水力発電 60%、火力発電 60%、原発 0、新工ネ発電現状、とした時
- \* 資料出所は平成23年度 (2010年4月～2011年3月) 関西電力株式会社 有価証券報告書